

<関川村立関川中学校 第二十一回卒業証書授与式>



告 辞

降り積もった雪も解け、緩やかな春の訪れを感じる今日のよき日。関川村立関川中学校、第二十一回卒業証書授与式にあたり、教育委員会を代表し、お祝いの言葉を申し上げます。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんの輝かしい門出を心からお祝い申し上げます。義務教育の課程を修了し、今日という日を迎えた皆さんの姿は、とても頼もしく、まぶしく映ります。これから皆さんは、それぞれの道を歩んでいきます。その先にはきっと様々な挑戦が待っていることでしょう。

今年の冬、ミラノ・コルティナ五輪に、村上市出身のスノーボード選手、平野歩夢さんの姿がありました。大会直前に大けがを負いながらも、奇跡的に夢の大舞台に立ち、「積み上げてきた四年の時間を信じてやるだけ」との言葉通り、果敢に攻め、けがを感じさせない滑りを披露して、七位入賞を果たしました。北京で金メダルの夢をかなえ、「その先に進む」と二連覇を目指して重ねた努力。思わぬ状況でも最後まで挑み続けたその姿。競技後、彼は「たくさんの応援、心からありがとうございました。皆さんのエネルギー全てを感じ、不可能が可能になってこの舞台に戻ってくることができま

した。」「無駄なものは何一つないと自分の中に落とし込んで、また進化する姿を届けられるように自分らしくやっていきたい。」と語りました。困難な中でも常に感謝を胸に、覚悟をもって挑み続けるその姿勢に共感した人も多いのではないのでしょうか。

皆さんもこれからの長い人生の道のりで、迷いや不安に出会うこともあるでしょう。しかし、常に応援してくれる周りの人たちへの感謝を忘れず、今できることを精一杯にやる。その姿勢がきっと明るい未来を切り拓いていくはずです。

結びに、今日のこの日を迎えるまで、お子さんを温かく見守り、励まし、支えてこられた保護者の皆様に心より感謝とお祝いを申し上げます。また、子どもたちひとり一人に寄り添い、情熱をもって学びの喜びと生きる力を育んでくださった櫻井校長先生をはじめとする教職員の皆様、そして地域の皆様にも心より御礼申し上げます。皆さまの親身の支えがあって今日という日を迎えることができました。本当にありがとうございました。

皆さんの今後の更なる成長とご活躍を心からお祈り申し上げて、関川村教育委員会の告辞といたします。

令和八年三月三日

関川村教育長 **津野 庄一郎**